

キャリアと組織の心理学

Psychology of Career and Organization

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	坂本 理郎(現代社会学部現代社会学科准教授)
単位数	2単位
最大授業定員	54名
開講学期	後期1時限(10:50~12:20) 水曜日(9月25日~1月15日、12月24日~1月6日は冬休み期間)
成績評価	出席、事前・事後課題の提出、授業中発表等、授業期間中の成果をもって、総合評価を行う。
テキスト	特になし
参考文献	特になし
授業以外の学習方法	事前または事後の課題の提出を求める時があります。
その他の特記事項	特になし
講義概要	本講義では、組織とキャリアに関する重要な理論をいくつか取り上げ、自分自身や他者への実用を意識しながら、その概要を学びます。組織に関する心理学を学ぶことは、いずれ関わるビジネスの場ではもちろん、アルバイトやクラブでの人間関係やチームワークに対しても、役立てることが期待できます。また、キャリアに関する心理学を学ぶことは、就職活動や自身の未来を考える指針を得るうえで有効です。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション(講義の内容と進め方) 2. 良いチームワークとは 3. モチベーションを上げるには 4. リーダーシップ 5. 集団意思決定に潜むワナ 1 6. 集団意思決定に潜むワナ 2 7. 採用と面接の心理学 8. キャリア発達の心理学(スーパーの理論) 9. 転機の乗り越え方(シュロスバーグの理論) 10. 性格と職業のマッチング(ホルランドの理論) 11. ポジティブ思考のキャリア形成(計画された偶然性理論&SCCT) 12. 組織と個人のニーズの調和(シャインの理論) 13. 新しいキャリアのあり方と人間関係(ホールの理論とメンタリング) 14. 物語的真実としてのキャリア(サビカスの理論) 15. 事例検討(純子さんのケース)